

高等学校学習指導要領との関連性や接続性

メディア情報学部

メディア情報学部での学修と、高等学校における教科等（現行の学習指導要領による標準的な教科等と科目名称を記しています）との関連性や接続性について以下に示します。

なお、普通科でも特色あるコースやクラスなどで学習している場合、専門教育を主とする学科や総合学科などの場合、現行の高校3年生とは異なる学習指導要領を適用している場合などにおいては、それら学習内容を下表に概ね当てはめながら考察してください。

学習指導要領 令和4(2022)年度 高校3年生の場合		入学前に学習しておくことが望ましい内容／教科等との関連性や接続性
教科等	科目	
国語	国語総合 国語表現 現代文A 現代文B 古典A 古典B	メディア情報学部の学修では、様々な文献や資料を読み解いたり、レポートや論文を作成する機会も多いため、「国語」教科は、そうした機会においても有効な力になります。 加えて、 <b>社会メディア学科</b> では、社会調査の中で人々の意見をより正確に聴取・要約する力や、グループワーク等で自分の意見を簡潔に論じる表現力、他者との間でコミュニケーションに基づいて合意形成を行う力などが求められます。 また、 <b>情報システム学科</b> では、プログラミングやシステム開発で求められる条件を正しく把握する力や、構築したプログラムやシステムを分かりやすく説明する力が求められます。 そのため、 <b>必修科目「国語総合」のみならず、複数学年にわたり継続的に複数の科目を履修</b> していることが望まれます。
地理歴史	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B	メディア情報学部の学修では、社会学や情報学の専門分野のみならず、豊かな教養も身につけていきます。特に、 <b>社会メディア学科</b> では、情報社会の諸問題の発見や分析をするための知識や能力が求められます。 そのため、「地理歴史」教科においては、複数学年にわたり <b>継続的に複数の科目を履修</b> し、社会や歴史に関する関心を高めておくことが望まれます。
公民	現代社会 倫理 政治・経済	メディア情報学部の学修では、基礎的な教養として、現代社会や生活における仕組みや課題を理解していることが重要です。 そのため、「 <b>公民</b> 」 <b>教科の学びは大切</b> であり、履修した科目については内容を深く理解していることが望まれます。
数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学活用	メディア情報学部の学修では、データ分析や情報処理に関連する科目を履修します。それらの科目の円滑な理解には、「数学」教科の知識が役立ちます。 <b>社会メディア学科</b> では、「統計学基礎」「応用統計」「データ分析法」などを必修または選択科目として履修するため、「 <b>数学Ⅰ</b> 」「 <b>数学Ⅱ</b> 」「 <b>数学A</b> 」「 <b>数学B</b> 」を履修していることが望まれます。 <b>情報システム学科</b> では、「線形代数学」「微分積分学」「情報数学」「人工知能とデータマイニング」などを必修科目として履修するため、「 <b>数学Ⅰ</b> 」「 <b>数学Ⅱ</b> 」「 <b>数学A</b> 」「 <b>数学B</b> 」の <b>すべてを履修</b> していることが強く望まれます。また、「 <b>数学Ⅲ</b> 」にあたる内容を必修科目である「 <b>教養数学</b> 」で扱うため、「 <b>数学Ⅲ</b> 」を履修していることが望まれます。
理科	科学と人間生活 物理基礎 物理 化学基礎 化学 生物基礎 生物 地学基礎 地学 理科課題研究	メディア情報学部の学修では、情報系の専門知識のみならず、科学に関する豊かな教養も身につけていきます。 そのため、「理科」教科においては、 <b>複数の科目の履修</b> とともに科学への関心を高めておくことが望まれます。
保健体育	体育 保健	メディア情報学部の学修を進めるうえでは、「保健体育」教科を通じて、心と体を一体としてとらえ、自己の状況に応じて体力の向上を図り、 <b>健康を適切に管理する資質や能力</b> を身につけていることが望まれます。
芸術	音楽Ⅰ～Ⅲ 美術Ⅰ～Ⅲ 工芸Ⅰ～Ⅲ 書道Ⅰ～Ⅲ	メディア情報学部の学修を進めるうえでは、「芸術」教科を通じて、芸術文化についての理解を深めるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、 <b>メディア情報学部の学修全般にも有効な資質や能力</b> として身につけていることが望まれます。
外国語	コミュニケーション英語基礎 コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語会話	メディア情報学部の学修では、異なる文化や価値観を持つ人々とコミュニケーションする力の習得を目的として、多くの英語科目を必修としています。また、文献調査や事例研究を行うために英語で書かれた文章を読む力も必要です。 これらの学修のためにも、「外国語」教科の、特に「英語」は重要であり、必修科目「 <b>コミュニケーション英語Ⅰ</b> 」のみならず、 <b>3学年継続的に複数の科目を履修</b> していることが望まれます。
家庭	家庭基礎 家庭総合 生活デザイン	メディア情報学部の学修を進めるうえでは、「家庭」教科を通じて、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を体得し、 <b>メディア情報学部の学修全般にも有効な資質や能力</b> として身につけていることが望まれます。
情報	社会と情報 情報の科学	メディア情報学部の学修では、情報系の専門的な知識を深めるため、「情報と社会」「情報と法」「コンピュータシステム」「情報セキュリティ」などの講義科目のほか、情報リテラシーやプログラミングの演習科目など、数多くの情報関連科目を履修します。 そのため「 <b>情報</b> 」 <b>教科は重要</b> であり、科目の履修とともに情報技術への関心を高めておくことが望まれます。
総合的な学習の時間		メディア情報学部の学修を進めるうえでは、「総合的な学習の時間」を通じて、横断的・総合的な学習や探究的な学習を経験することで、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、協働的な態度とともに、 <b>よりよく問題を解決する資質や能力を身につけている</b> ことが望まれます。